

平成28年度行政事業レビューシート ( 厚生労働省 )

事業名	へき地における医療提供体制整備の支援			担当部局	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課救急・周産期医療等対策室		室長：伯野 春彦		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第11次へき地保健医療計画 へき地保健医療対策等実施要綱				
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障、その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都道府県単位で「へき地医療支援機構」を設置し、へき地診療所及び過疎地域等特定診療所並びに医師配置標準の特例措置の許可を受けた病院からの代診医の派遣要請等広域的なへき地医療支援事業の企画・調整等を行い、へき地医療対策の各種事業を円滑かつ効率的に実施することを目的とする。また、全国の機構が参加して、国や他の都道府県並びに有識者と取組に関する情報交換等を行う機会を設け、へき地保健医療対策の質の向上を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>へき地医療拠点病院等への医療従事者の派遣要請に関すること。</li> <li>へき地医療拠点病院における医師・歯科医師等派遣登録業務、当該人材のへき地診療所等及び特例措置許可病院への派遣業務に係る指導・調整に関すること。</li> <li>へき地医療拠点病院における巡回診療の実施に関すること。</li> <li>へき地診療所等への医師の派遣(へき地診療所等の医師の休暇時等における代替医師の派遣を含む。)の実施及び当該事業に必要なドクタープールの運営に関すること。</li> <li>へき地従事者に対する研修計画・プログラム作成、キャリア形成推進に関すること。</li> </ul>								
実施方法	直接実施、補助								
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
	予算の状況	当初予算	259	266	262	263	263		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		259	266	262	263	263		
執行額		228	231	226	-				
執行率(%)		88%	87%	86%	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	無医地区等における巡回診療等の実施回数を前年度以上とする。	無医地区等における巡回診療等の実施回数	成果実績	回	21,746	21,870	22,888	-	-
			目標値	回	25,545	21,746	21,870	-	22,888
			達成度	%	85	100.6	104.7	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	補助件数	活動実績	件	36	35	34	-		
		当初見込み	件	34	36	35	34		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	へき地医療支援機構等連絡会議開催回数	活動実績	回	1	1	1	-		
		当初見込み	回	1	1	1	1		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	執行額/補助件数			単位当たりコスト	百万円	6.3	6.6	6.6	6.6
				計算式	執行額/補助件数	228/36	230/35	225/34	-
平成28・29年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金	259	259	-					
	諸謝金	1	1	-					
	委員等旅費	2	2	-					
	庁費	1	1	-					
	計	263	263	-					

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること										
	施策	日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)										
	測定指標	定量的指標					単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 28 年度
		へき地医療支援機構等連絡会議開催回数	実績値	回	1	1	1	-	-			
			目標値	回	1	1	1	-	1			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	成果目標である巡回診療件数を増加させることが、へき地における住民の医療確保に直結することから、地域における医療提供体制の確保をより一層促進できる。											
	改革項目	分野:	-									
	アクション・プログラム	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-				
目標値			-	-	-	-	-					
達成度		%	-	-	-	-						
KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度				
		成果実績	-	-	-	-	-					
	目標値	-	-	-	-	-						
達成度	%	-	-	-	-							
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
	項目				評価	評価に関する説明						
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	未だ無医地区等が多く存在しており、広く国民のニーズがあるため、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	都道府県・地域間の医療格差是正の観点から、引き続き国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	未だ無医地区等が多く存在しており、無医地区等における巡回診療等の実施回数を増やす等の政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				○	受益者も応分の負担をしており妥当である。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	当該事業に必要な補助基準額の設定を行っている。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				○	当該事業は都道府県直接補助事業である。						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	補助対象がへき地に対する各種対策の運営費であるため、費目・使途が事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。						
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				○	平成27年度は、へき地保健医療対策検討会を開催しなかったため、事務費等が削減となったため。							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	無医地区等における巡回診療等の実施回数は、年度目標を上回っている。						
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	見込みにあったものになっている。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				○	「へき地における医療提供体制整備の支援」においては、へき地医療支援事業の企画・調整等を行うものであり、実際に各種事業を行う「へき地における医療提供等の実施」事業とは役割が異なる。そのため、適切な役割分担を行っていると考えられる。						
	所管府省・部局名		事業番号		事業名							
	厚生労働省医政局		5		へき地における医療提供等の実施							
点検結果・改善	点検結果	未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題である。無医地区を有する全都道府県において、よりへき地医療対策を円滑に実施するために本事業が活用されていることから、引き続き、国の施策として進めていくことが必要であるとする。										
	改善の方向性	自治体から提出された実績報告書より事業による効果や執行実態を把握しているところである。各都道府県におけるへき地医療の需要は年度毎にある程度増減するものであることから、今後も需要のある事業を把握し、引き続き適切な執行に努めてまいりたい。										

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状  
通り

未だ無医地区等が多く存在しているという現状から、へき地に対する医療提供体制の確保は非常に重要な課題であり、今後も都道府県のニーズを把握し、必要な予算を確保し、適正に執行していくこと。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状  
通り

—

備考

—

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	26	平成23年度	25	平成24年度	26	
平成25年度	5	平成26年度	5	平成27年度	4	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
226百万円

【へき地における医療提供体制整備に対する補助】

※補助率 1/2

【補助】

A. 都道府県(34) 225百万

B. 事務費 1百万円

事業内容

- ・へき地医療拠点病院等への医療従事者の派遣要請
- ・へき地医療拠点病院における医師・歯科医師等派遣登録業務、当該人材のへき地診療所等及び特例措置許可病院への派遣業務に係る指導・調整
- ・へき地医療拠点病院における巡回診療の実施
- ・へき地診療所等への医師の派遣(へき地診療所等の医師の休暇時等における代替医師の派遣を含む。)の実施
- ・へき地従事者に対する研修計画・プログラムの作成

事業内容

- ・全国の無医地区及び無歯科医地区等の実態を調査するとともに無医地区及び無歯科医地区の解消に向けた総合的なへき地保健医療対策について検討を行う。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

